



RI第2660 2012-13 ロータリー財団セミナー
財団法人道の補助金部門

国際ロータリー第2660地区

財団法人道の補助金委員会 2012-2013年度 委員長

ロータリー財団委員会 2012-2013年度 委員

吉川 仁育



ロータリー財団の人的補助金

マッチング・グラント
(主に**国外事業**に利用)



地区補助金(DSG)
(主に**国内事業**に利用)



地区補助金(DSG)

主に地元で
実施される奉仕活動や
小規模な海外での
人道的プロジェクトを
支援する補助金



2012-13年度実行プロジェクトに 使用する(現行の)地区補助金について(1)

- (1) 受付 地区補助金審査会まで申請書・見積書を提出(委員会担当者宛)
- ・受付期間:2013年1月31日まで
(例年は2月下旬まで 2012-13年度は次年度の都合上、1ヵ月早く締切る予定)
- (2) 審査 メールによる審査を予定
結果を通知
- ・状況に応じ 臨時の審査会を開催



2012-13年度実行プロジェクトに 使用する(現行の)地区補助金について(2)

(3) 実行

- ・地区承認日(7月2日)以後に実行
- ・次年度への準備のため、可能な限り12月末までに終了

(4) 報告

- ・プロジェクト実行から2ヵ月以内に報告書類(報告書・領収証・写真)を提出
- ・遅くとも2013年3月末までに報告



地区補助金(DSG)の授与

当地区の今年度地区補助金予算額

→ 56,000ドル(448万円)

1プロジェクトあたりの利用限度額は
プロジェクト総額の50% もしくは20万円の

■ いずれか低い方

約25件を予定



2012-13年度DSG使用状況

- 8月20日現在

申請審査中、承認済みの案件

11件 2,007,670円

**全25件としてあと、14件可
能**



地区補助金申請の条件

- 地区人道的補助金委員会の審査基準

授与と受諾の条件に従う

「人道的プログラムかどうか」

文化的活動は不可



ほとんどの補助金申請が承認

- 申請書記入誤りは委員会にてアドバイス

メール添付

書き直しの注意



不承認の例(1)

●寄贈が不適切とされたケース

- 1.公立中学校にウォータークーラー寄贈(緊急性に疑問あり)
- 2.幼稚園にAED寄贈(幼稚園児の心室細動症例は稀少である)
- 3.個人病院に車いす寄贈(客観的に見て困窮度が低い医療施設)
- 4.小学校に芝刈り機の寄贈(総額69万円)
- 5.高校に吹奏楽楽器の寄贈(総額46万円)



不承認の例(2)

- 人道的でないと判断されたケース

- 1, キャンペーン
- 2, 金銭支援
- 3, チャリティコンサート

- 既存のプログラム・他団体の主催事業

既に着手されているプロジェクト、行政イベントへの援助など



不承認の例(3)

昨年度の例

- ロータリー財団本部 から、贅沢品と判断され、否認されたケース

(地区で承認されたにもかかわらず)

i-Pad のような、タブレット型 PC

(金額にかかわらず、贅沢品と認定された)



申請書の提出

今年度地区補助金を用いた事業について

- 申請書受付中
- アンケートの提出にかかわらず、会長サインの入った申請書の受付順
- 資金が枯渇した時点で終了



補助金申請書記入方法の資料

2012年5月29日

記入見本および解説を各ロータリークラブ事務局宛にemailにて配布済み。

改訂版申請書には「報告書提出予定日」をご記入いただく欄を追加。



補助金申請書の記入方法1

- ① 明確なプロジェクト名 : どこで何をするプロジェクトなのか。ロータリアンは受益者にはなれない。よって「〇〇周年行事」等、誤解を招き得る表現は申請書に記載しない。署名以外パソコンにて作成。
メールやり取り



補助金申請書の記入方法2

- ② 何を、いつ、どこで、を簡潔に記述。学校や施設名、物品名の固有名詞は記載不要。特に英語に翻訳される際に手間取る書き方をしない。寄贈品の場合は、その管理者を記す。
- ③ できるだけ多くの方が恩恵を受けられるプロジェクトが推奨される。



補助金申請書の記入方法3

④人道的ニーズなのか？授与と受諾の条件に合致しているか？どれにも当てはまらない場合や文化的活動(例:スポーツ大会の主催、科学実験教室、コンサートの開催[ホスピスでのコンサートは可]、史跡の保存等)は不適格。娯楽品、贅沢品、華美な装飾を施した品は、寄贈先がたとえ公共施設や恵まれない方の施設であっても補助金の使用は不適格。



補助金申請書の記入方法4

⑤ロータリアンの担当者の実人数が必要で、かつ可及的に大勢のクラブメンバーが関与、協力することが求められる。かかわった2名だけ、というのは不適切。また、財政支援したからとの理由だけでクラブ全員を人数に入れるのも不適切。



補助金申請書の記入方法5

⑥ 広報活動を含め、ロータリアンが汗を流す活動例について簡潔に記述。（例：地域社会のニーズ調査を行った、施設、業者を訪問し打合せを行った、会場の準備・司会運営・安全管理、施設の清掃、この奉仕活動の地域新聞への広報を行った...など）



補助金申請書の記入方法6

⑦クラブは地区補助金と同額以上の支出予算組みが必要。地区補助金の上限は20万円。

海外におけるプロジェクトの場合は、「クラブ社会奉仕活動資金」→「クラブ世界社会奉仕活動資金」と変更。
「人道的国際奉仕活動資金」と変更の可能性。



補助金申請書の記入方法7

- ⑧ロータリーの職務：クラブ会長、クラブロータリー財団委員長など、正式に記述。
- ⑨必ず連絡担当者のE-mail address を記載。
- ⑩アドバイスを求める場合の申請書（下書き段階）では署名不要。地区補助金審査用の申請書にはクラブ会長の署名が必要。署名は必ず英語筆記体。先に名、後から姓。



補助金申請書の記入方法8

- ⑪ 報告書提出期限はプロジェクト終了後、2カ月以内。改訂版申請書に提出予定日を記入。



各クラブへのお願い

- 申請書受付中
- 予算関係不備の確認
- 事務局への正式提出前の下案の提出
(委員会担当者あて)



ご清聴ありがとうございました

RI D2660財団法人道的補助金委員会

2012-2013年度 委員長

ロータリー財団委員会

2012-2013年度 委員

吉川 仁育

yosh@coo.net

